

平成29年度学校評価報告書

平成30年3月29日

北海道教育委員会教育長 様

北海道釧路湖陵高等学校長 橋本達也 印

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

【全日制】

1 本年度の重点目標

- | | |
|---|---------------------------------------------------------------------|
| 1 | 学力向上に向けた主体的・協働的な学びを推進するためアクティブ・ラーニングを通じた授業改善とルーブリックを活用した授業と評価の一体的改善 |
| 2 | 研究指定事業における取組の推進 |
| 3 | 生徒の主体性と協働性の育成を目指した生徒に考えさせる生徒指導体制の充実 |
| 4 | 3年間を見通した進路指導計画の確立とキャリア教育の充実 |
| 5 | 教育相談体制の充実 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	S S H・S C R U M・医進類型などの研究指定事業を初めとして様々な取組が適切に実施され、評価・改善へと結びつけられている。	学習指導における「自己評価」はほぼ適切である。今後もアクティブ・ラーニングを通じた授業改善を充実させ更なる学力向上を図って欲しい。
改善方策	コンピテンス基盤型教育を推進するために全ての教科・科目がコア・コンピテンシーの育成を目指すとともに、育成すべきコンピテンスを明確化した学習指導を充実させる。	
生徒指導	生徒会や部活動を通じて主体性と協働性を身に付けるとともに、地域貢献に寄与することができた。いじめ防止基本方針を改定し、いじめのない学校作りを推進することができた。	生徒指導についての「自己評価」はほぼ適切である。生徒会や部活動を通じて豊かな人間性を育むことができています。
改善方策	高いレベルで生徒の主体性と協働性の育成を目指し、「考えさせる指導」を重視し、高い人間性を育成していく。	
進路指導	生徒や保護者への十分な説明と適切な情報提供が実施されている。高大接続改革に関する校内研修を実施し、今後の進路指導の在り方を研究することができた。様々な進路希望に応じた職場体験等の実施を含めた3年間を見通したキャリア教育計画の作成が必要であると分析している。	進路指導についての「自己評価」はほぼ適切である。進学実績は保護者・地域の期待に応えている。より一層の実績を積み上げて地域のリーダーとなり得る人材育成をしてほしい。
改善方策	3年間を見通した進路指導計画を確立させる。高大接続改革に関する研修と対策を更に充実する。	
健康安全指導	特別な支援や不登校傾向のある生徒への対応に関する組織体制の充実を図ることができた。今後、関係機関との連携強化や保護者へのアプローチの充実を図りたい。	健康安全指導についての「自己評価」はほぼ適切である。より一層、教育相談、生徒理解を進めてほしい。
改善方策	個人情報保護に十分配慮しつつ、教員間での指導体制の充実を図る。防災・減災への意識を高揚させる指導の充実を図る。	
信頼される学校づくり	地域の活動や行事への参加等を通じて地域との連携を深めることができた。保護者面談の充実やP T Aと連携した教育活動の充実を図ることができた。より一層の広報・情報発信を高めたい。	保護者、地域との連携を深めることができています。保護者、地域の期待に応えるより一層の教育活動の充実を図ってほしい。
改善方策	各学年・分掌・部活動の取組を通じて保護者、地域との連携を強化する。中学校への広報活動の在り方を検討する。	
教職員の資質向上	教科・分掌・全体研修は確実に実施した。授業公開の充実と授業研究WGが主導したA Lの研究・実践を深めることができた。	教職員の資質向上の「自己評価」はほぼ適切である。
改善方策	課題を明確にした研修会の充実、教育者としての意識の高揚を図る。	

公表方法	学校ホームページ
------	----------